



日本国への警鐘

令和7年8月22日

黒田インターナショナルコンサルティング LLC

黒田 毅

為政は、必ずその至誠をなすものである。これを失うことは国家がその根幹を失うことなのである。

これらは正直さと誠実さが、現実を与えるものであり、学術や技術の進歩の活用が社会と生活の向上を実現できるものである。

これらが政治の根幹であり、国民との対話における合意形成と理解の共有が未来の実現を与えるのである。

これら正しい政治の基盤が時代という飛躍その進歩性を未来する正しい選択なのである。これらは政治学が自己の利益の追求において世界を奪うことでなく、人々への責任と奉仕において自己を行うことなのである。

これらが正しい社会と現実の形成と枠組みを与える基盤なのである。

組織はその効率性や進歩性、生産性において合理的なシステムの進歩を求める。これらは倫理的飛躍が未来における大きな可能性の実現を与えることへの証明なのである。

正しい世界の創造には必ず正しい心を求めるものである。これが正しい政治の基盤なのである。

これらが正しい現実の構築へ政治への要求である。また誤った現実が与えられるのは、必ず誤った基盤において与えられるのである。

これが自己を正すことが正しい現実への道時であり、その積み重ねが未来を変化できるのである。

これらは子供たちの未来への責任という視点において、政治を問うことができるのである。

